



学校便り

高甫っ子

令和2年10月28日

NO 13

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

【学校教育目標】 明日の日本をになう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

柿の皮むき体験会

小学校の周りは、今、実りの秋を迎えました。稲刈りはすでに終わりましたね。今はちょうどぶどうやリンゴ、そして今日の主役である柿が食べ頃を迎えています。今日は午後、グループごとに分かれて柿の皮むき体験会を行うので、柿について少しお話をしたいと思います。

昔からこの高甫の柿は「八町柿」といって大変有名でした。本校の校章に柿の花が使われているのもそのせいです。本校にも柿の木がありますね。今日、5年生が柿の実を収穫するそうです。ありがとうございます。この柿の木は今から19年前に植えられたものです。この2本の柿の木は、長崎から送られてきました。長崎はその昔、日本が戦争をしていたときに原爆という大きな爆弾が落とされました。その爆弾によってすべての建物は吹き飛びました。すべての草木は燃えました。当然、その時長崎にいた人や動物といったあらゆる生き物が命を落としました。すべてを焼き尽くしたのです。



ところが、何もなくなったはずの長崎で生き残った植物がありました。それが5本の柿の木だったのです。高甫小に植えられている柿の木は、長崎で生き残ったその柿の木の子どもです。原爆は、今から75年前に落とされました。かなり昔のことなので当時のことを知る人もだいぶ少なくなりました。今では長崎も新しくなりました。今長崎に行ってもそんな大変なことが起こったなんて誰も気づきかないと思います。時がたてば人の記憶も薄れてしまいます。しかし、これは絶対忘れてはいけないことです。高甫小学校では、戦争の悲惨さを忘れないように、二度と戦争が起きないように願いをこめて、毎年、この時期に柿の皮むき体験会を行っています。今日の柿の皮むきの時はそのことを思い出してください。

柿の皮はなぜむくのかというと、干し柿を作るからです。生の柿は渋くて食べるできません。しかし、皮をむいて干しておく、不思議と柿は甘くなります。昔は、甘い物がなかったのでお菓子の代わりによく食べていました。1年生は今日初めて柿の皮を剥きますね。ケガのないように良〜話を聞いて皮を剥いてください。今年もたくさんの柿を地域づくり推進委員の皆さんが集めてくださいました。「ありがとうございます」としっかりお礼を言ってください。

平和の印である「柿の実」がたくさん実る自然豊かな「柿の里」高甫。

争いのない平和な社会を作ることは、みんなの願いです。そのために高甫小学校では誰一人悲しい思いをする子がいないように、ケンカは絶対ダメ、いじめも絶対許さない。そしてみんな仲良し！しっかり約束してくださいね。



* 今年、コロナ感染対策として、全体会を行わず、いくつかの会場に分散して実施しました。

